

R7. 4. 21 一部修正

R7. 8. 25 一部修正

令和7年度 芸術鑑賞補助対象事業一覧

高知県立美術館 (TEL:088-866-8000)			
催物名	実施期間	補助額	催物内容等
英国王室に咲く ボタニカルアートと ウェッジウッド ＜共同企画展＞	令和7年4月24日(木) ～6月29日(日)	一般 500 円	英国の植物誌に掲載された植物画の原画や、ウェッジウッドをメインとした陶磁器を通して、18世紀から19世紀に大きく発展した英国の文化を紹介。
安野先生のふしぎな学校 ＜共同企画展＞	令和7年7月12日(土) ～9月7日(日)	大学生 450 円	画家・安野光雅の作品は自然あふれる津和野での幼少時代に空想をめぐらせながら過ごした経験から生まれた。画家として独立する前の教員時代に着目し、授業の科目に見立てて紹介。
異端の奇才 ピアズリー展 ＜共同企画展＞	令和7年11月1日(土) ～ 令和8年1月18日(日)	一般・大学生 500 円	19世紀末美術に特異な位置を占める画家オーブリー・ピアズリー。代表作『サロメ』を中心に、耽美的な魅力を紹介。
「高知の前衛」展 ＜自主企画展＞	令和8年2月28日(土) ～3月31日(火)	一般 500 円 大学生 400 円	1962年に高知で結成された前衛美術集団「前衛土佐派」の波乱万丈の活動をリーダーの浜口富治の作品を中心に紹介。

高知県立文学館 (TEL:088-822-0231)

催物名	実施期間	補助額	催物内容
花咲くモダンデザイン ～大正イマジュリイの世界～	令和7年4月5日(土) ～6月15日(日)	300 円	イマジュリイ”imagerie”とは、イメージ図像を意味するフランス語であり、本展では、本や雑誌の挿絵、装幀など、大衆性の高い版画や印刷物の総称としてこの言葉を用いています。 大正期に開花し、時を経てなお輝き続けるデザインやイラストレーションの数々、モダン感覚あふれる世界を豊富な資料で紹介します。
原作出版 80 周年 きかんしゃトーマス展	令和7年7月5日(土) ～9月15日(月)		2025 年、「きかんしゃトーマス」の原作『汽車のえほん』出版 80 周年を迎えます。世界中で愛されている「きかんしゃトーマス」の原画や参加型のコーナーなどで、大人も子どもも家族みんなで楽しめる展覧会です。
短詩型文学 その魅力	令和7年10月4日(土) ～ 令和8年1月4日(日)		歌論としての側面を持つ『土佐日記』にはじまる土佐の文学。最近では、岡本真帆さんの短歌がSNSで大きな話題となっています。短いから奥深い俳句、短歌などの短詩形を楽しむ展覧会です。
怖い文学展 ～高知県立文学館×香美市立美術館～	令和8年1月17日(土) ～3月22日(日)		平成29年・30年・令和4年と3回にわたり「怖い絵」展を開催した香美市立美術館とコラボした展覧会です。当館が所蔵している関連本等も紹介し、絵や文章、その背景にまでスポットを当て、文学の新たな魅力に触れていただきます。

高知県立歴史民俗資料館(TEL:088-862-2211)

催物名	実施期間	補助額	催物内容
企画展 「西南四国の中世社会と公家」	令和7年2月28日(金) ~5月6日(火) ※ R7.4.1 から対象	250 円	愛媛県歴史文化博物館と連携して開催する企画展。土佐の一条氏と南予の西園寺氏に関する出土品や文書、武具など、愛媛県歴史文化博物館で展示された資料に当館独自の資料を加えて展示することにより、公家であった一条氏と西園寺氏が西南四国に求めたものの、また、西南四国の中世社会の様子、変容ぶりを紹介する。
企画展 「妖怪壘壘ー湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)セレクションー」	令和7年7月4日(金) ~9月7日(日)	350 円	広島県三次市の「湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)」に所蔵されている錦絵や絵巻などの妖怪資料を展示することにより、畏怖の対象だった見えないものを視覚化し、娯楽の対象へと展開してきた人々の想像力に迫る。
企画展 「武市半平太の書画」	令和7年10月10日(金) ~ 令和8年1月12日(月)		武市半平太の書や絵画は、書状に比べてあまり注目されてこなかった。本企画展では、県内各地の半平太の書や絵画を一堂に会することにより、半平太の知られざる一面を紹介する。
企画展 「歴民コレクションをひもとくーあつめる、つたえるー」	令和8年2月27日(金) ~5月17日(日) R8.3.31 まで対象		「収蔵庫は宝の山」をキーワードに、収蔵品の意義を問い直す。開館当初に県から移管された懐徳館資料や郷土文化会館資料をはじめ、考古・歴史・民俗の3分野の代表資料、分野をまたがる家資料である堀見家資料、地震・津波などの災害に備えて当館で預かりしている龍乗院の資料(重要文化財)などを展示、紹介する。

高知市文化プラザ(かるぽーと) (TEL:088-883-5071)

催物名	実施期間	補助額	催物内容
12人の怒れる土佐人	令和7年7月18日(金) ~7月19日(土)	500 円	レジナルド・ローズの名作「12人の怒れる男」を原文戯曲から土佐弁に翻訳し、市民と共に創り上げた演劇公演「12人の怒れる土佐人」の再演。 殺人の罪に問われた少年の評決を巡り、12人の陪審員による熱い議論を通して、陪審員それぞれの人生や正義が浮かび上がる密室法廷劇。
第14回高知の音楽活性化事業 「加藤文枝チェロリサイタル」	令和7年9月13日(土)		東京藝術大学を経て、パリ市立音楽院を満場一致の首席で卒業し、国内外の数々のコンクールにて受賞歴のある加藤文枝のチェロリサイタル。シャネル・ピグマリオン・デイズ室内楽シリーズでの演奏や、地域創造登録アーティストとして、地域へのアウトリーチ活動にも力を入れている。

土佐清水市立市民文化会館 (TEL:0880-82-3300)

催物名	実施期間	補助額	催物内容
ワイキス&バラングマ ~土佐清水万博2025~ (仮タイトル)	令和7年5月11日(日)	500 円	ペルー出身の兄弟デュオ、ワイキスらによるワールドミュージック。進行役は講師の玉田玉秀斎が務める。
牛抱せん夏 真夏の怪談	令和7年7月5日(土)		Youtubeチャンネル「この世の裏側」の登録者数6万人を誇る怪談師、牛抱せん夏氏による怪談噺。
鈴木ユキオダンス公演 (タイトル未定)	令和7年8月(予定)		コンテンポラリーダンサー、鈴木ユキオ氏を中心としたダンサーら数名と市民参加によるダンス公演。
南こうせつコンサート in 土佐清水	令和7年10月11日(土) もしくは10月12日(日)		シンガーソングライター、南こうせつによる土佐清水初となる単独公演。